

白井透先輩追悼「小金井マスターズ」開催

丸山暢久（4組）

第15回小金井マスターズが第40回関東同窓会ゴルフコンペを兼ねて晴天の10月25日（水）に小金井カントリー倶楽部（東京都小平市）で開催された。今回は当初から小金井マスターズの代表世話人をやってこられた白井透先輩（60期、以下白井さん）が7月にお亡くなりになり、長年に亘る白井さんのご尽力に感謝し、白井さんの人徳を偲ぶ大会として、後任世話人の古畑克巳さん（69期）が奔走して40名もの参加者を集めて行われた。

白井さんとはゴルフコンペでは2、3回ご一緒したがルールを重んじた綺麗なゴルフでした。最後にご一緒したのは一昨年のマスターズだったが、既にその頃はかなり腰の状態が悪く、相当我慢されていたと思われた。しかも小金井CCは18ホールを全部歩かねばならず、体調が優れない白井さんにとっては“しんどい”の一語だったと思う。そんな中でも白井さんは大学で野球をやらただけあって、プレイに誤魔化しが無いことに感心した。

小金井CCはコースの両サイドに大きな木が構えており、その根っ子の拡がりか厄介である。或るホールで運悪く白井さんのボールが根っ子の間に入ってしまい、そのまま打つとかなり危険な感じがしたので、私とキャディーが「動かして下さい」と言ったが、白井さんは恐らく「目の前にあるボールを動かすなぞ出来ない」とでも思ったのでしょう。ゴルフクラブが2回ほど根っ子に当たり3回目に何とかフェアウェイに出した訳です。

今大会は白井さんの人徳であろう、昔の同窓会コンペの様に40名もの参加者で賑わった。上田方面からも数名の同期（60期）の方々が参られ、皆さん白井さんに感謝しつつ無事完走された。65期は残念ながら林長人君（2組）と私だけの参加で、往時の勢いは無くなったが、まだまだゼロにはしたくない。

唯、少し嬉しいのは65期より若い期の諸君が大分参加するようになり安堵した。

新世話人の古畑さんの良き計らいで参加者全員に白井さんの刻印が入った記念のケース入り



りゴルフボール（写真）が手渡された。このボールを貰った方々は恐らく白井さんを都度思い出すのではなかろうか。良い後任が出来て白井さんも天国から安心して小金井CCを覗いていることだろう。最後になるが毎回このマスターズを格安でセットして下さる小金井CCメンバーで白井さんの良き友、ドクター黒澤博身さん（60期）と、同じくメンバーで90歳を超える大先輩の和田裕さん（48期）に感謝したい。

白井さんの名前入りのゴルフボール

来年のマスタースの開催は10月23日（水）と決まっているが、益々多くの同窓諸氏の参加でこの大会を盛り上げ、白井さんへの感謝を深めたい。



スタート前の集合写真、前列右端が筆者

(2023年11月8日記)

以上